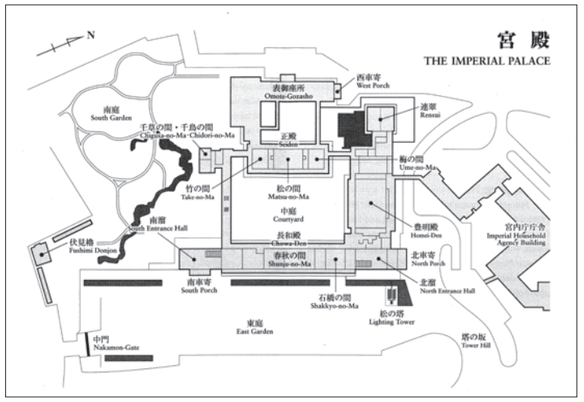

皇居

京都保護育成会
確固たる財政基盤確立に「賃貸マンション」を建設

更生保護法人京都保護育成会は、戦後の混乱期に生活苦から道を踏み外してしまった一部の在日同胞の社会復帰を図る目的で、京都民団初代団長が中心となり、民族愛、同胞愛のもとに先人達の努力と熱意で築き上げた更生保護事業を継承し、本年で創立77年を迎える。これまでも堅調な法人運営を続けてきているが、主たる財源である更生保護委託費の大幅な増加が見込まれず、円安による諸物価の高騰など厳しい経済情勢下にあって、将来を展望し安定した財政基盤を確立するために、現在、収益事業として行っている貸し駐車場の敷地約200坪に、更生保護事業の活動領域拡大と経営の多角化による安定した財政基盤を確立するため、新たな収益事業として賃貸マンションを建設することとした。建物は鉄筋コンクリート造り5階建て、賃貸住宅は2LDK14戸、賃貸用駐車場18台で、本年3月に着工、来年1月に完成し、4月から本格的な経営を開始する。建設資金は、総額3億5千万円（自己資金2億円、借入金1億5千万円）の予定である。

賃貸マンション完成予想図

更生保護法人京都保護育成会正面玄関

小泉龍司法務大臣（左）から藍綬褒章を受章する更生保護法人京都保護育成会・金有作理事長（右）

令和5年秋の褒章「藍綬褒章」を受章
更生保護法人 金有作理事長 京都保護育成会
2023年11月13日、法務省大会議室

金有作理事長

2023年11月13日、東京都霞が関にある法務省大会議室において、全国の更生保護法人役職員受章者114名を代表して、小泉龍司法務大臣から藍綬褒章の記並びに褒章を受章しました。

国璽が押された褒章の記には、「日本国天皇は大韓民国人 金有作に 多年更生保護関係団体の要職にあって斯界の向上に寄与したことについて藍綬褒章を贈与する」と記されており、感謝とともに今後益々更生保護事業の発展に精進していく決意を新たにした次第です。

法務省での伝達式終了後、専用バスにて皇居に赴き、長和殿春秋の間において、天皇陛下に拝謁いたしました。

振り返りますと、2000年7月、京都保護育成会評議員に就任し、2008年に先代の河炳旭理事長の後を継ぎ、理事長として今年で16年目を迎えます。京都保護育成会の更生保護活動が今後も安定して継続できるよう、財政基盤を確固たるものにするため新たな収益事業にも取り組んでいます。これからも犯罪、非行防止と安全・安心な地域社会を実現するため努力してまいります。

（金有作）

「藍綬褒章」記・褒章